

年金額が異なる。障害基礎年金の
合、年額は1級で約97万円、2級
約78万円。子どもがいると増額さ
る。

診日とし、障害
されるケースが
った。
の病気が診断が
の医療機関を受
判明するなど確
年かかることも
は近年、確定診
期を初診日と認
になり、その分
差れる例が増え
は受け取れない
たという。
昨年12月の通知
後には確定診断
事例がみられる
の上で、脳脊髄
関する一連の診
れる場合は、患
てた初診日を認
記した。本来の

保育士が昼寝中の園児の
加工しています)
19年11月、埼玉県川口市



作業負担
との時間

保育士不足が深刻な埼玉
県で、情報通信技術(ICT)
を用いた「スマート保育園」
の実証実験が始まっている。
保育の記録をデジタル化す
るなど事務作業の手間を省
くことで「保育士と子ども
が接する時間が増える」と

自動記録

を着けてもらっていた。布
団で寝息を立て始めると、
タブレット端末に「おおお
け」「横向き」と体勢が自
動的に記入されていく。
昼寝中の検温には端末と
無線通信できる体温計を添
っている。測定したデータ

四国電力は13日、伊方原
発(伊方町)3号機のプラト
ニウム・ウラン混合酸化物
(MOX)燃料を含む燃料集
合体157体の取り出し作
業を同日午後9時に開始し
たと発表した。当初は13日
午前0時開始予定だったが、
12日の燃料集合体の取り出
しに向けた作業中に制御棒
1体を誤って引き抜くトラ
ブルが起き、遅れていた。
四電によると、燃料集合
体の取り出し作業は3日程

燃料取り出し開始

伊方3号機定検 トラブルで遅れ

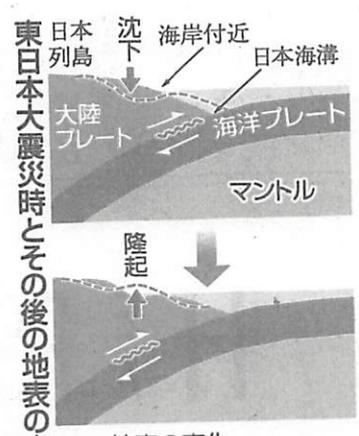
度かかる予定。トラブルに
よる環境への放射能の影響
はないとし、原因は作業と
並行して調査する。
13日午前9時17分から、
燃料集合体に挿入し直して
いた制御棒1体と上部炉心
構造物を切り離す作業を実
施。午前10時34分に原子炉
容器から上部炉心構造物を
取り外し、燃料集合体取り
出しに向けて炉内点検など
を進めていた。
県は原子力センターの職
員を現地に派遣し、現場の
状況などを確認。神野一仁
副知事は四電の長井啓介社
長に嚴重注意を行い、速や
かな原因究明と再発防止策
の徹底、安全確保最優先の
定期検査に取り組みよう要
請した。
12日は上部炉心構造物の
つり上げ作業中、燃料集合
体に本来残すはずだった制
御棒48体のうち1体を誤っ
て引き抜き、再挿入してい
た。(中野貴衣)

年金額を受け取れていなか
った患者でも改めて申請す
れば、さかのぼって支給が
認められる可能性がある。
運用改善を求めているN

PO法人「脳脊髄液減少症
患者・家族支援協会」の中
井宏代表理事は「多くの患
者にとって希望が出た」と
コメントした。

同様の問題は慢性疲労症
候群(CFS)など他の病
気でも指摘されており、厚
労省は「対応を今後検討す
る」としている。

震災反動 地盤隆起の影



東北太平洋沿岸

マグニチュード(M)
0の巨大地震を伴った
011年の東日本大震災
東北地方の太平洋沿岸の
盤は沈下したが、その後
隆起を続ける。影響は海
の復旧や船の安全航行に
び始めた。専門家は「マ
ードは鈍るが隆起は数十

岸壁上昇 漁業者 海図と誤差座標

1/14